

箏や尺八みやびな調べ

市邦楽連盟 演奏会 メンバーら披露



和楽器のみやびな調べがホールに響いた
市邦楽連盟の第61回演奏会

市邦楽連盟の第61回演奏会（市文化協会主催、山陽新聞社など後援）が26日、市民会館で開かれた。小学生か

ら一般まで約80人が、和楽器のみやびな調べをホールに響かせた。代表幹事で尺八奏者黒住八山（本名・要）は、3年弘奈さん（9）は、さん（57）＝宇野＝ら連盟メンバー、うの子どもも楽級の児童、光南高が難しい。強弱をつけ校、玉野高校、岡山市立灘崎中学校の生徒らが出演。箏、尺八、三絃、十七絃で「平城山獅子」「夕やけこやけ変奏曲」「朝の海」などを情緒たっぷりに披露した。

訪れた人は美しい音色に聞き入り、一曲一曲に大きな拍手を送った。箏を演奏した宇野小学校5年十河太郎君（10）は「緊張したけどうまくいった」、妹の3年弘奈さん（9）は「他の人と合わせるの」が難しい。強弱をつけようを意識した」と話していた。

（岡本遥加）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。